

# 第27回 ビデオファンが国内外から集う交流の場 東京ビデオフェスティバル 2005 発表・表彰式を開催

- ＊ビデオ大賞＊  
「つぶつぶのひび」  
大木千恵子さん（京城閣）
  - ＊日本ビクター大賞＊  
「Off To War : Chapter Two（はる、戦争へ 第2章）」  
Brent and Craig Renaudさん（アメリカ）
  - ＊優秀作品賞＊  
70の品を出品
  - ＊佳作＊  
70の品を出品
  - ＊ハイビジョンムービー賞＊  
「海一無限」  
中村盛夫さん（東京都）
  - ＊ビートル賞＊  
（一般ビデオファンによるweb投票）  
「闘神地獄歌（闘神と彼女の歌）」  
真 平美さん（石川）
  - 「京都市電物語」  
ギンチン電線北野線」  
寺岡一輝さん（京都府）
  - 「よいこのための学校紹介」  
京都府立下鴨中学校パソコン部（京都府）
- ＊ビデオ大賞、日本ビクター大賞、ビートル賞は優秀作品賞の中から、ハイビジョンムービー賞が特別に表彰された100作品の中から選出されています。



＊ビデオ大賞＊  
京城閣・大木千恵子さん  
「私ひとりでもきた作品ではないので、協力してくれた人たちにとっても感謝しています。この作品を観終わった後に、いつも見慣れていた風景や自分の前の小さきひとつひとつのものは物陰があるということに気づいてもらえるらう嬉しいです」

世界39の国や地域から2,605作品もの応募が寄せられた東京ビデオフェスティバル2005が、2月11日～19日の9日間わたって開催されました。「ビデオで何が届くか」をテーマに、ゲストを盛り合わせた「春夜ビデオオンボウム」には120名の方々が、そして、フィナーレを飾る「発表・表彰式」では、「春夜ビデオオンボウム」には国内外から約550名のビデオファンが参加しました。この「発表・表彰式」では、すでにホームページ等で発表していた優秀作品賞(30本)と、佳作(70本)の入賞作品(100本)について表彰。その上で、優秀作品賞の中から「ビデオ大賞」と「日本ビクター大賞」が発表され、栄耀の場を浴びての表彰式となりました。

ほかにもハイビジョンムービー賞や、一般ビデオファンのインターネット投票による「ビートル賞」も発表。さらに、表彰式後の「TVFフォーラム」では、優秀作品賞の受賞者たちが審査委員とともに壇上上がり、作品についての思いを語り合うなど、目を離せないイベントが続きと盛り上げられ、フェスティバルにふさわしい充実した内容となりました。



＊日本ビクター大賞＊  
アメリカ・Brent and Craig Renaudさん  
「私と兄とでこの1年間、イラク戦争の取材を続けました。兄は命をイラクに捧げました。命を落とすようになったことは何事もありました。このように大きな喜びを味わったことのできる作品のメッセージが世の中に伝わり、うれしく思います」

東京ビデオフェスティバル2005  
●入賞作品上映会  
2月11日(祝)～2月17日(木)  
「Everio・フェスタ」同時開催  
ビクターホール  
●市民ビデオシネマ  
2月18日(金)  
新大塚シアタープレイス内「サ・ガーデンルーム」  
●発表・表彰式とTVFフォーラム  
2月19日(土)  
池袋角館シアタープレイス内「サ・ガーデンホール」



東京ビデオフェスティバル(TVF)について  
●日本ビクター(株)は1978年から毎年1回開催している世界最大の市民ビデオ映像祭で、表彰応募作品数は約4万3千本に及びます。ビデオ映像によるメッセーの伝達や自由な映像表現の可能性を広げるとともに、社会や生活に密着した映像文化の普及、振興を目的としています。  
●応募作品は20分以内のビデオ作品であれば、テーマ・題材は自由です。また、VCR、VHS、個人、グループ、団体、年齢を問わず誰でもの応募が可能です。  
●各年の専門家で構成する審査委員会が審査にあたります。また、毎回時代の潮流を反映した優秀作品、話題作品を輩出して話題を築くとともに、多くの人にビデオ作品のつくりかたや活用を伝え新たな映像ソフト制作の動機付けを行っています。  
「東京ビデオフェスティバル(TVF)ホームページ」  
URL : <http://www.victor.co.jp/tvf/>